



第2章

行事計画

基本的な考え方

厳粛で品位のある進行を基本に、豊かな海や自然を守り続けていくことの重要性を全国に発信する内容とします。

また、これまで豊かな海づくりのために実践してきた栽培漁業や資源管理型漁業、環境保全に向けた新たな取組を紹介し、大会を通じて「豊かな海」を次世代につなぐことを誓う場とします。

日時等

- 期 日：令和5年9月17日（日）午後
- 場 所：厚岸漁港 屋根付き岸壁特設会場
- 招待者数：1,000名程度

実施内容

（1）構成

式典行事会場では、プロローグ、表彰、稚魚等のお手渡し、海づくりメッセージ、エピローグなどを行います。

（2）演出の考え方

ア 北海道の栽培漁業の取組について、漁業者の声や将来を担う高校生の活動などを映像と交えて紹介するなど、豊かな水産業の方向性・可能性を示します。

イ 海洋プラスチックごみ対策や植樹活動など、海の環境保全に対する北海道の取組を紹介し、持続可能な豊かな海と自然の恵みを次世代につなげていく決意を発信します。

ウ 自然が育んだ高品質な「北海道ブランド」の食の魅力、北海道の海の伝統、アイヌ文化をはじめとする北海道の特色や歴史などを演出に活かします。

（3）基本的な構成・内容

式典行事は、華美にならない装飾のステージで、厳粛で品位ある進行を行います。

プロローグでは、北海道の海の豊かさや地域の伝統と魅力をパフォーマンスなどで表現するとともに、栽培漁業、海洋プラスチックごみ対策、海の環境を守る活動などを映像とともに紹介します。

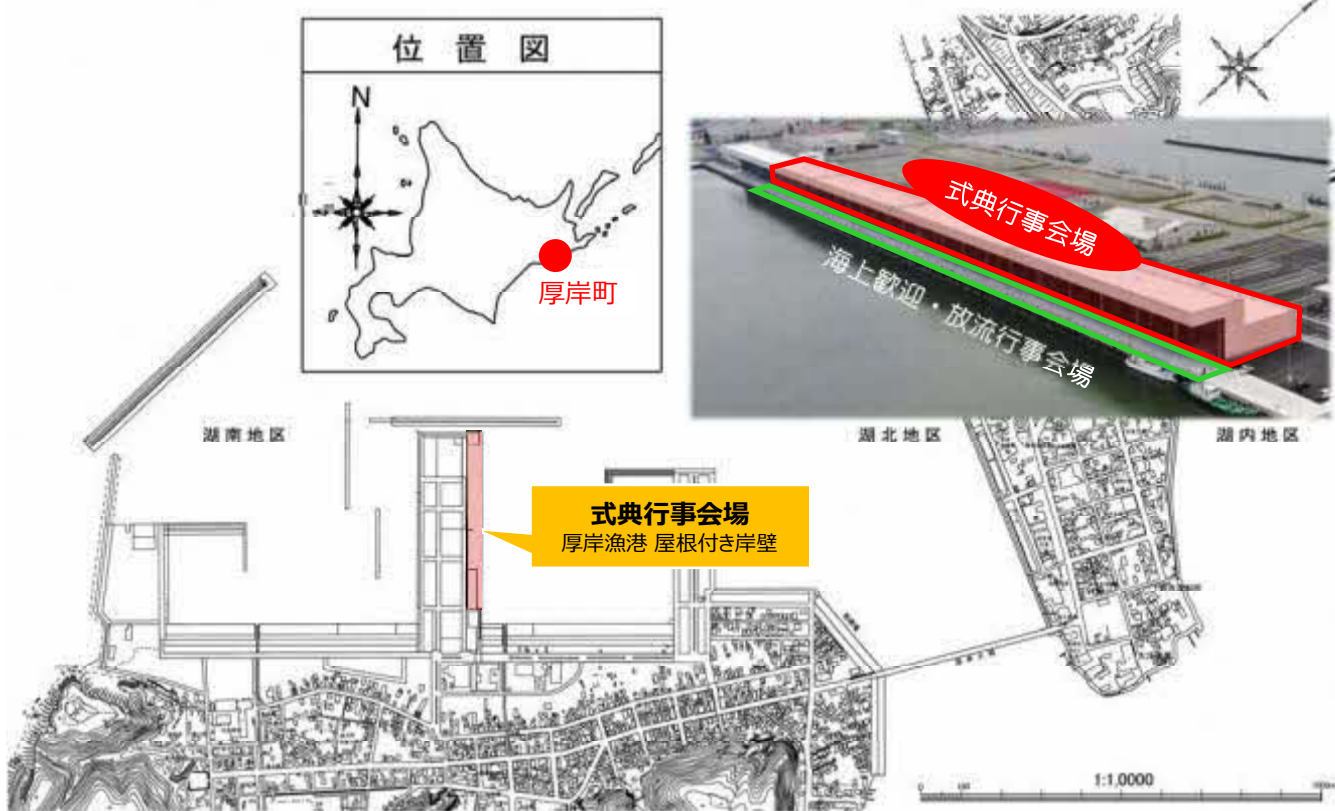
表彰では、豊かな海づくりに功績があった団体などの表彰を行います。

稚魚等のお手渡しでは、漁業関係者に対し、北海道を代表する魚種の稚魚等のお手渡しが行われます。

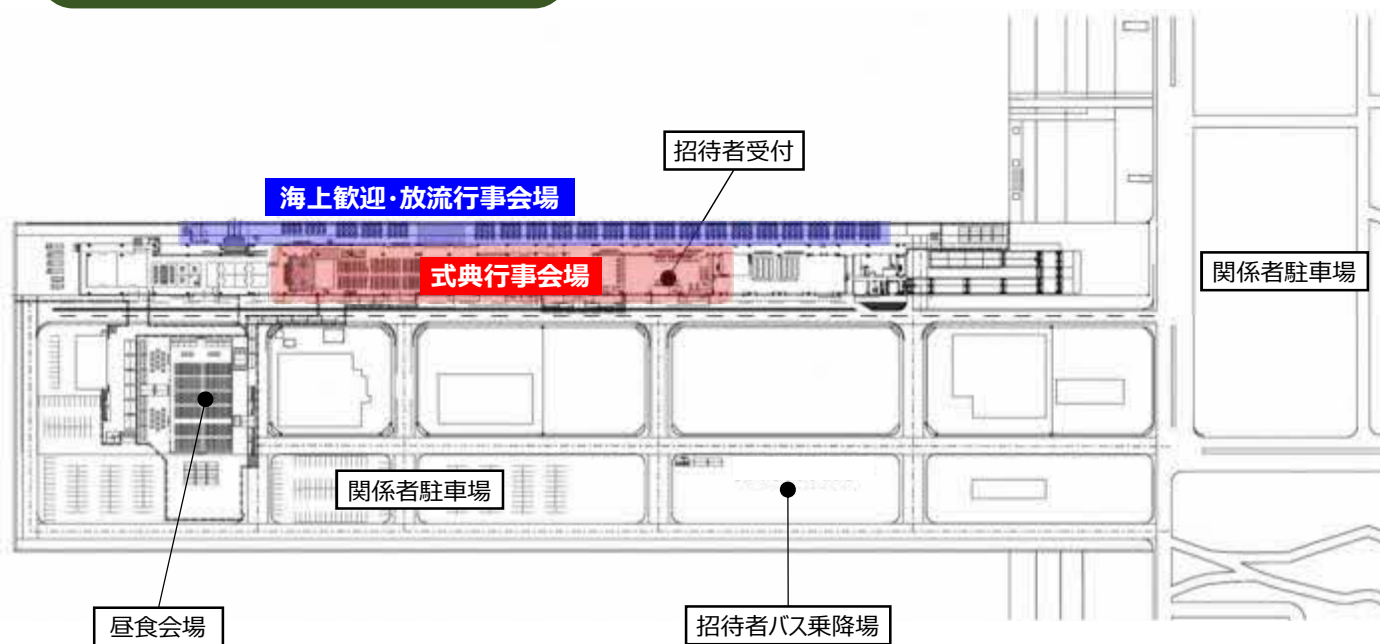
海づくりメッセージでは、北海道の漁業者・水産業者、関係者たちが協力して、持続的に発展し続けることができる豊かな海をつくっていく決意を力強く発信します。

エピローグでは、海の明るい未来に向けた希望を、音楽やパフォーマンスなどで会場と共有します。

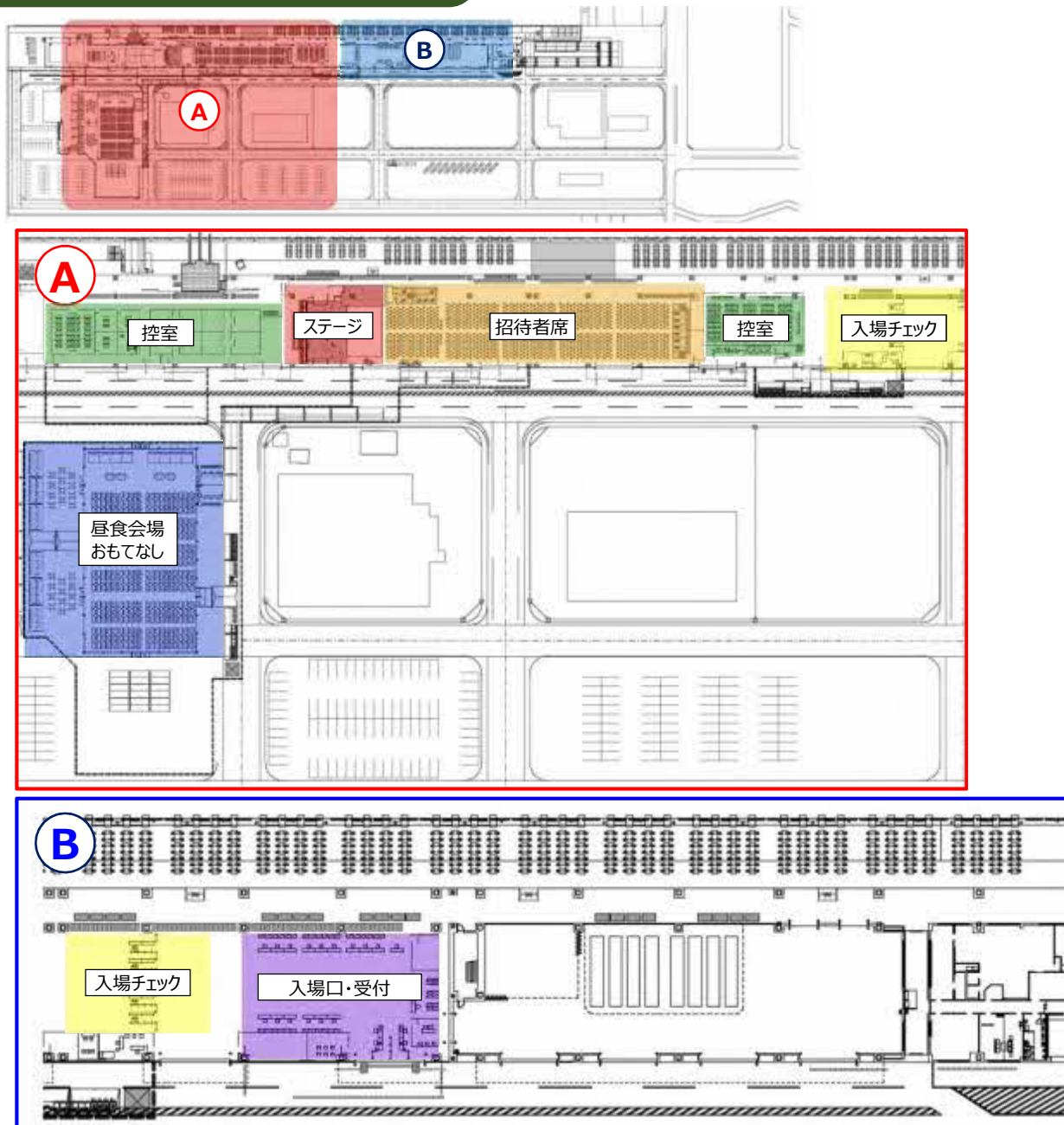
会場周辺図



会場全体図



会場拡大図



イメージパース



演出進行表

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽	映像	
130'	招待者入場開始 招待者着席	招待者順次入場 北海道紹介の映像上映（観光ビデオ等）		VTR 音声	VTR 映像	
30'	プログラム	第1章 豊かな3つの海をもつ北海道	ナビゲーター：千堂 あきは（調整中） 地元の郷土芸能団体 地元関係者、高校生、小学生 など	VTR 音声 & ライブ 音声	VTR 映像 & ライブ 映像	
		第2章 栽培漁業とブランド化				太平洋、日本海、オホーツク海の3つの海をめぐる、北海道の海の豊かさを案内。また、開催地の郷土芸能も披露。
		第3章 海洋ごみ問題と豊かな海づくり				釧路管内を中心に、栽培漁業やブランド化への試みの実際を紹介。現場の工夫や肉声も取り入れる。
6'	受賞者紹介	受賞者紹介映像を上映		BGM	VTR 映像	
4'	進行概要説明	司会より開催概要、プログラム、式典中の注意事項等を説明	司会者	—	—	
4'	登壇者／式典補助員紹介	登壇者・式典補助員等の紹介	登壇者 式典補助員：霧多布高等学校 釧路東高等学校	—	ライブ 映像	
3'	奉迎準備	司会者による奉迎の案内		BGM	ライブ 映像	
1'	御臨席	北海道知事の先導により御臨席	先導：北海道知事	BGM	ライブ 映像	
3'	大会旗入場	BGMに合わせて大会旗が入場	旗手：厚岸翔洋高等学校	BGM	ライブ 映像	
		北海道議会議長が旗手より大会旗受取	北海道議会議長			
1'	開会のことば	（一社）北海道水産会代表理事会長 （北海道漁業協同組合連合会代表理事会長） より開会のことば	（一社）北海道水産会代表理事会長 （北海道漁業協同組合連合会代表理事 会会長）	BGM	ライブ 映像	
2'	国歌静聴		式典音楽隊	BGM	VTR 映像	
8'	主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長	大会会長（衆議院議長）	—	ライブ 映像	
		北海道実行委員会会長	北海道知事			
3'	歓迎のことば	厚岸町長より歓迎のことば	厚岸町長	—	ライブ 映像	
4'	天皇陛下のおことば			—	ライブ 映像	
4'	功績団体等表彰	授与者はステージ下手、受賞者は上手に整列 全国豊かな海づくり大会会長賞、農林水産大臣賞 環境大臣賞、水産庁長官賞、北海道知事賞	各賞受賞者代表	BGM	ライブ 映像	
4'	最優秀作文の発表	大会会長賞受賞者より作文朗読	大会会長賞受賞者代表	—	ライブ 映像	
4'	稚魚等のお手渡し	水産関係者等へ稚魚等をお手渡し	お受取：漁業関係者 介添え：厚岸翔洋高等学校	BGM	ライブ 映像	

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽	映像
10'	海づくりメッセージ	メッセージ① (若手など)	漁業者 水産業関係者 環境保全等の取組実践者 など 進行：総司会会+千堂 あきほ（調整中）	BGM	VTR 映像 & ライブ 映像
		メッセージ② (夫婦など)			
		メッセージ③ (環境保全活動 の関係者など)			
		協力&決意 (登壇者全員)	メッセージ①～③の登壇者		
3'	大会決議	大会推進委員会会長より大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長 (全国漁業協同組合連合会代表理事会長)	—	ライブ 映像
4'	大会旗引継 次期開催県あいさつ	北海道知事から大分県知事へ大会旗引継 大会旗引継ぎ後、大分県知事よりあいさつ	北海道知事 大分県知事	BGM	ライブ 映像
1'	閉会のことば	北海道議会議長より閉会のことば	北海道議会議長	—	ライブ 映像
2'	御退席	北海道知事の先導により御退席	先導：北海道知事	BGM	ライブ 映像
10'	登壇者退席	登壇者退席 司会より今後の予定等の案内 表彰式準備	司会者	BGM	ライブ 映像
15'	エ ピ ロ ー グ	作品コンクール表彰	北海道副知事 受賞者	BGM	ライブ 映像
7'		エピソード	ナビゲーター自身が、大会全体の感想を含め、 海への想いを語る。 そして、音楽やパフォーマンスなどで、会場全 体で豊かな海をつかっていく思いを共有。	ナビゲーター：千堂 あきほ（調整中）	VTR 音声
4'	終了				

兵庫大会（令和4年）での実施状況



大会旗入場



功績団体などの表彰



次期開催県への大会旗引継

* 写真提供：兵庫県

登壇者・出演者一覧

登壇者	来賓	農林水産大臣 環境大臣 水産庁長官 大分県知事〔次期開催県〕
	主催者	全国豊かな海づくり大会会長〔衆議院議長〕 豊かな海づくり大会推進委員会会長〔全国漁業協同組合連合会代表理事会長〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会会長〔北海道知事〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会副会長〔厚岸町長〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会副会長 〔（一社）北海道水産会代表理事会長（北海道漁業協同組合連合会代表理事会長）〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会顧問〔北海道議会議長〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会顧問〔厚岸町議会議長〕
	作文発表者	最優秀作文発表者
	受賞代表者	大会会長賞受賞代表者 農林水産大臣賞受賞代表者 環境大臣賞受賞代表者 水産庁長官賞受賞代表者 北海道知事賞受賞代表者
出演者等	プロローグ 出演者	ナビゲーター：千堂 あきほ（北海道漁協女性部応援大使・2019～）（調整中） 和太鼓演奏：北海道くしろ蝦夷太鼓保存会、釧路太平洋太鼓保存会 伝統芸能（厚岸かぐら）：厚岸かぐら同好会、（継承校）真龍小学校 道内（道東海域以外）の栽培漁業の事例紹介：道内水産高校など（調整中） 海洋ゴミ問題、海の問題の事例紹介：道内水産高校など（調整中）
	海づくり メッセージ 出演者	漁業者 水産業界関係者 環境保全等の取組実践者など（調整中）
	大会旗入場 出演者	旗手：厚岸翔洋高等学校
	稚魚等の お手渡し 出演者	お受取：漁業関係者 介添え：厚岸翔洋高等学校
	式典補助員	霧多布高等学校、釧路東高等学校
	受賞者	作品コンクール（作文・絵画・習字）各部門の受賞者
	エピローグ 出演者	ナビゲーター：千堂 あきほ（調整中）
	式典音楽隊	釧路交響楽団

演出の考え方

(1) 北海道の海と多彩な魅力、栽培漁業、海洋プラスチックごみ対策などの試みを紹介し、持続可能な豊かな海を守り育てていく決意を発信

- ア 皇室ご臨席行事にふさわしい格調のある式典を執り行い、世代を超えた協力で北海道の海づくりへの決意を力強く発信します。
- イ 北海道のさまざまな栽培漁業の取組、海洋プラスチックごみ対策をはじめとする海の環境保全の活動について、漁業者の声や将来を担う高校生の活動などを映像と交えて具体的に紹介します。
- ウ 北海道の3つの海、大自然や歴史、食をはじめとする北海道ブランド、そして開催地の伝統芸能などを紹介し、北海道の魅力を全国に伝えます。

(2) 展開とねらい

プロローグ、式典、エピローグを通じて、北海道の海の豊かさ、持続可能な水産業への取組を紹介し、豊かな海を守る想いを会場全体と共有します。

構成	展開とねらい
プロローグ	全国からの参加者に開催地の芸能などで歓迎の意を表するとともに、北海道の海の豊かさ、栽培漁業、海洋環境の保全活動などを、映像を交えながら、ストーリー性をもって紹介します。
式典 (海づくりメッセージ)	「海づくりメッセージ」では、漁業者や地域の関係者、若者などが、世代をつないで北海道の豊かな海を創っていく決意を高らかに発信します。
エピローグ	北海道、そして全国の海の明るい未来に願いを込めた音楽やパフォーマンスなどで、明るい希望のなかに式典行事を終了します。

(3) 式典に親しみやすさを醸成するナビゲーターの起用

式典行事全体の進行を総合司会と協力しながら進め、式典に統一感と親しみやすさを与える役割としてナビゲーターを起用します。

ナビゲーターには、出演者と参加者の橋渡し役を務めてもらうほか、ご自分の体験をもとに海の未来への想いを語っていただきます。

■ ナビゲーター 千堂 あきほ (せんどう あきほ)

女優、タレント、歌手として、多くのトレンドドラマなどに出演。
現在は、活動の拠点を北海道におき、主婦目線で活躍。
北海道漁協女性部応援大使として、北海道の多くの漁港や家族を訪ね、北海道の水産物のPRを行っている。
この経験をふまえ、大会の意義と北海道の魅力を楽しく具体的に発信していただくことを期待。



演出イメージと展開

(1) プロローグ

全国から来場された参加者に、北海道の海の豊かさ、大自然に支えられた多様な魅力を紹介するほか、持続可能な水産業の確立に向けた栽培漁業の取組、さらに海洋プラスチックごみ対策をはじめとする環境保全活動について、漁業者の声や将来を担う高校生の活動などを映像を交えて紹介します。

演出イメージ（案）	出演者
<p>□ 第1章 豊かな3つの海をもつ北海道</p> <p>◎ 北海道の3つの海をめぐる釧路・厚岸へ</p> <p>北海道の海の波の高鳴りを思わせる太鼓演奏につづき、映像が始まる。日本海～オホーツク海～太平洋へとめぐりながら、各地の水産業と特色・魅力を紹介します。 最後に開催地・厚岸にもどり、ステージでは地元の海の伝統を伝える「厚岸かぐら」が披露されます。</p> <p>□ 第2章 栽培漁業とブランド化</p> <p>◎ 釧路・厚岸での実践例の紹介</p> <p>釧路管内を中心に、道内の栽培漁業やブランド化の取組事例を漁業者の声や高校生の活動など映像を交えて紹介し、地域づくりへの夢を会場に伝えます。</p> <p>□ 第3章 海洋ごみ問題と豊かな海づくり</p> <p>◎ 北海道を起点に全国にひろがるネットワーク</p> <p>厚岸・北海道の廃漁網が全国の関係者のネットワークでリサイクルされ、美しい鞆になった話を紹介しながら、海洋プラスチックごみ対策の今後の方向性をさぐっていきます。 また、道内の高校生が行っている、海の環境保全に関する活動事例を紹介し、未来に向けて豊かな海を守り続ける想いを会場と共有します。</p>	<p>* ナビゲーター 千堂あきほ（調整中）</p> <p>* 太鼓団体</p> <p>* 伝統芸能団体 （厚岸かぐら） など</p> <p>* 地域の関係者</p> <p>* 高校生 など</p> <p>* 地域の関係者</p> <p>* 高校生 など</p>



厚岸かぐら



廃漁網を使用したスクールリュック



(2) 式典

海の豊かさと魅力を紹介しながら、北海道の未来の海づくりの誓いとして、北海道らしい演出で発信します。

〈次第〉

1. 受賞者紹介	2. 登壇者／式典補助員紹介	3. 御臨席
4. 大会旗入場	5. 開会のことば	6. 国歌静聴
7. 主催者あいさつ	8. 歓迎のことば	9. 天皇陛下のおことば
10. 功績団体等表彰	11. 最優秀作文の発表	12. 稚魚等のお手渡し
13. 海づくりメッセージ	14. 大会決議	15. 大会旗引継
16. 次期開催県あいさつ	17. 閉会のことば	

■ 稚魚等お手渡し

北海道を代表する4魚種が漁業関係者にお手渡しされ、大会終了後に放流されます。

魚種・特徴	写真
<p>○ホタテガイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国一の生産量を誇り、本道の漁業生産の3割以上を占める重要な魚種である。品質は国際的にも高い評価を得ており、日本を代表する輸出水産物となっている。 ・ オホーツク海では、毎年約30億粒の稚貝を放流する「地まき漁業」、噴火湾や日本海では、稚貝を入れた籠などを海中に吊す「垂下式養殖」による生産が行われており、種苗の安定確保や生残率の向上など、生産の安定化に向けた取組が進められている。 	
<p>○マガキ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本道のサロマ湖や厚岸湖では、以前から天然ガキの生息が知られ、明治の初めころから漁業が行われていた。本道のカキ養殖は、昭和10年ごろから宮城県産の種苗を用いた「垂下式養殖」が始まり、現在に至っている。 ・ 厚岸町では、平成10年度に国内初となるシングルシード方式の種苗センターを建設し、地場の種苗を用いた養殖に取り組んでいる。 	
<p>○エゾバフンウニ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道の全沿岸域に分布し、船上から「箱めがね」で海底を見ながら「たも」や「かぎ」を使ってとる漁法が一般的である。 ・ 昭和60年代に種苗生産技術が開発され、近年は、道内各地の施設で種苗生産が行われており、毎年約4,500万粒の種苗が放流されている。 ・ 北海道漁業調整規則による制限のほか、各漁協が自主的に操業期間や総水揚量の制限、禁漁区を設定するなど、資源管理に取り組んでいる。 	
<p>○マナマコ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古くから干しナマコに加工され、中国等に輸出されている。近年は中国の需要拡大に伴い、輸出が伸長している。 ・ DNA標識を用いた放流技術開発や静穏域を活用した中間育成手法の開発・普及などにより、近年は毎年約700万個の種苗が放流されている。 ・ 北海道漁業調整規則による制限のほか、各漁協が自主的に操業期間や漁獲サイズを制限するなど、資源管理に取り組んでいる。 	

*写真提供：(地独)北海道総合研究機構

■ 海づくりメッセージ

北海道の漁業者・水産加工業者をはじめとする関係者たちが、豊かな海と持続可能な水産業への抱負・展望を力強いメッセージとして発信します。

また、登壇者たちがメッセージを述べる背後には、その内容にふさわしい映像を流し、臨場感のある演出・進行を行います。

〈展開〉（案）

演目	メッセージの内容（方向性）と演出
メッセージ① （若手など）	<p>北の海が与えてくれる日本一の海の幸を守り育てる メッセージの第1段として、地元の若手漁師などに登壇いただき、自らの仕事への想い、豊かなで持続可能な漁業へかける熱意を力強く発信してもらいます。 ＊テーマ&トピックス：栽培漁業、資源管理、将来の夢、など</p>
メッセージ② （夫婦など）	<p>国際的にもブランド力の強い水産物を生産する 豊かな海に育まれた、おいしく安全な「北海道ブランド」の水産物をつくり、とどけていく仕事の誇りと使命を発信。 また、地域の絆、家族への想いなども紹介してもらいます。 ＊テーマ&トピックス：付加価値の高い水産物づくり、仲間との協力、など</p>
メッセージ③ （環境保全活動の関係者など）	<p>海の環境を保全し、海の豊かさを未来に伝える輪を広げる 海洋プラスチックごみ対策の広がり、漁民が始めた植樹活動、そして一般市民と連携する海の環境保全。北海道から全国に向けて、海の豊かさを守る活動の輪を広げようと訴えます。 ＊テーマ&トピックス：廃漁網のリサイクル、海の環境保全イベント、など</p>
協力&決意 （登壇者全員）	<p>豊かな北海道の海と水産業を、未来へとつないでいく 登壇者（メッセージ発言者）が一緒になって、北海道・日本の水産業の未来に向け、持続可能な豊かな海を守り育て、次世代へと伝えていく決意を高らかに発信します。 ＊演出：登壇者全員が協力するラストメッセージとなるよう配慮</p>

〈海づくりメッセージの発表者について〉

- ・漁業者や水産業関係者、環境保全等の取組を行っている方など

(3) エピローグ

■ 演出の考え方

式典行事の終了に際し、大会の意義を再確認するとともに、くつろいだ雰囲気の中かで、北海道の海の元気や魅力を会場の参加者の皆さんと共有する場を設けます。

演出イメージ（案）	出演者
<p>□PART① ナビゲーターの海と漁港の思い出</p> <p>◎ 千堂あきほさんと地元漁師・高校生とのトーク</p> <p>北海道各地の漁港をめぐり、漁師の家族に会っている千堂あきほさんに、訪問地での思い出などを語っていただきます。</p> <p>また、地元の漁師や高校生も参加し、北海道の海への若々しい抱負を楽しく紹介してもらいます。</p> <p>□PART② 豊かな海を未来につなぐメッセージ</p> <p>◎ 音楽などにより豊かな海への想いを表現</p> <p>北海道の海の魅力と明るい未来へのメッセージを音楽やパフォーマンスで表現し、豊かな海を守る想いを会場全体で共有します。</p>	<p>*ナビゲーター 千堂あきほ（調整中）</p> <p>* 地元漁師</p> <p>* 地元高校生 など</p>

基本的な考え方

本道の代表的な漁法紹介（漁船による海上パレード）などで招待者を歓迎します。また、海への感謝の心を育み、「豊かな海」を次世代につなげるため、思いを込めて稚魚の放流を行います。

日時等

- 期 日：令和5年9月17日（日）午後
- 場 所：厚岸漁港
- 招待者数：1,000名程度

実施内容

（1）構成

海上歓迎・放流行事では、様々な漁業に従事する漁船による漁法紹介、稚魚の放流などを行います。

（2）演出

歓迎演奏では、音楽隊による華やかな演奏で、行事の幕開けを演出します。

海上歓迎行事では、こんぶ漁業やさんま棒受け網漁業に従事する漁船などが港内でパレードを行います。パレードの際は、和太鼓の演奏をバックにそれぞれの漁法等の説明を行うものとします。

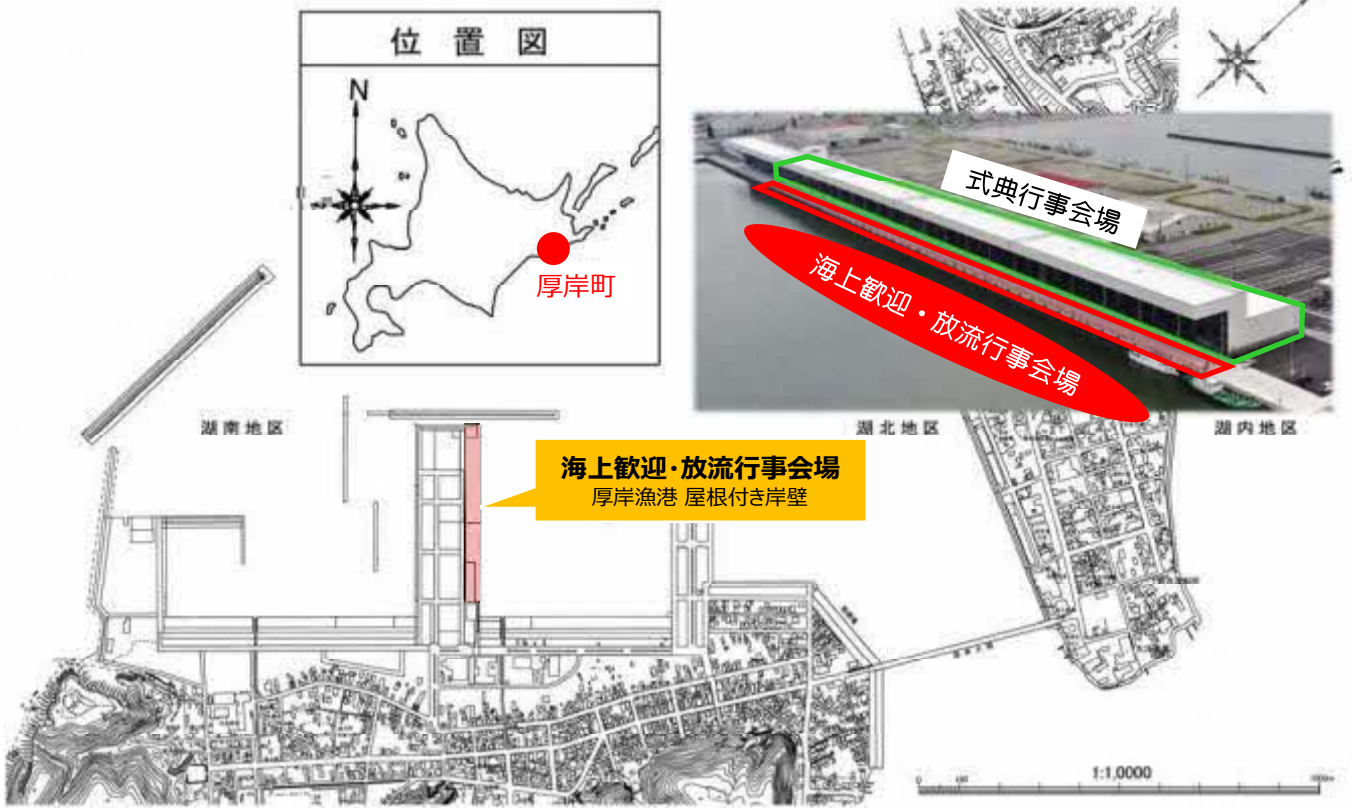
放流行事では、吹奏楽の演奏をバックにマツカワ・ホッケイエビの稚魚の放流を行います。

お見送り時にも、吹奏楽による演奏で感謝の意を表します。

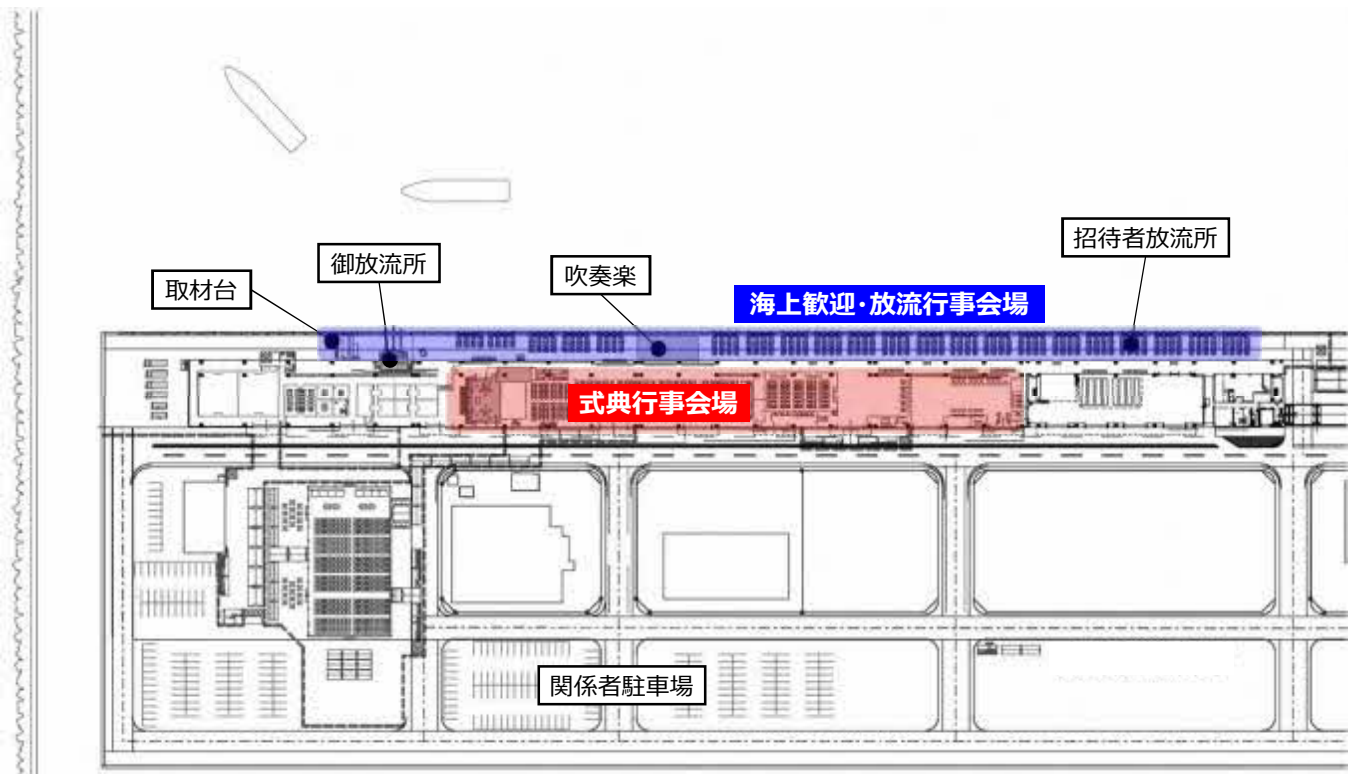


海上歓迎パレードイメージ

会場周辺図



会場全体図

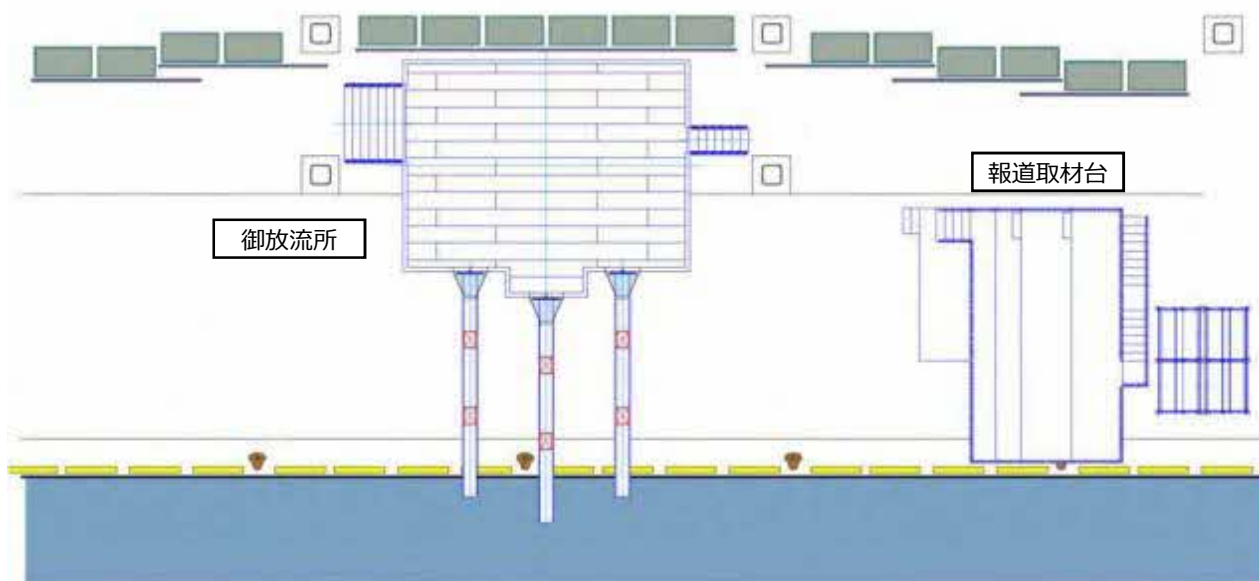


御放流所

御放流所は、漁港の屋根の下に設置し、万が一の風雨の影響を最低限に抑えられる位置へ設置します。また、両陛下のご放流の様子が確実に撮影できるよう、適切な報道取材台の配置を行います。

御放流所の材料は、環境に配慮するとともに、可能な限り道産木材を用いることとします。

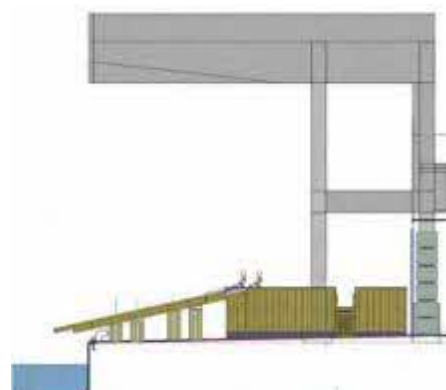
御放流所 平面図



御放流所 正面図



御放流所 側面図



演出進行表

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽
10'	招待者会場移動・整列	式典行事会場からブロック移動、整列		—
	歓迎演奏		演奏：厚岸町吹奏楽団 厚岸中学校吹奏楽部 真龍中学校吹奏楽部 厚岸翔洋高等学校吹奏楽部	吹奏楽演奏
5'	進行概要説明	プログラム及び注意事項の案内等	司会者	—
2'	奉迎準備	司会者による奉迎の案内		—
2'	御着	北海道知事の先導により御放流台へ御移動	先導：北海道知事 演奏：厚岸町吹奏楽団 厚岸中学校吹奏楽部 真龍中学校吹奏楽部 厚岸翔洋高等学校吹奏楽部	吹奏楽演奏
10'	海上歓迎御覧	漁船等による海上航行（漁法紹介）	海上航行 漁船7隻／漁場管理船2隻／官公庁船2隻 演奏：北海道くしろ蝦夷太鼓保存会 釧路太平洋太鼓保存会	和太鼓演奏
4'	第1回御放流	マツカワ稚魚の放流	御放流介添：厚岸翔洋高等学校 演奏：厚岸町吹奏楽団 厚岸中学校吹奏楽部 真龍中学校吹奏楽部 厚岸翔洋高等学校吹奏楽部	吹奏楽演奏
4'	第2回御放流	ホッケイエビ稚魚の放流	御放流介添：厚岸翔洋高等学校 演奏：厚岸町吹奏楽団 厚岸中学校吹奏楽部 真龍中学校吹奏楽部 厚岸翔洋高等学校吹奏楽部	吹奏楽演奏
2'	御発	北海道知事の先導により御発	先導：北海道知事 演奏：厚岸町吹奏楽団 厚岸中学校吹奏楽部 真龍中学校吹奏楽部 厚岸翔洋高等学校吹奏楽部	吹奏楽演奏
	終了アナウンス	司会より参加者への連絡事項	司会者	—

登壇者・出演者一覧

登壇者	来賓	農林水産大臣 環境大臣 水産庁長官
	主催者	全国豊かな海づくり大会会長〔衆議院議長〕 豊かな海づくり大会推進委員会会長〔全国漁業協同組合連合会代表理事会長〕 豊かな海づくり大会推進委員会顧問〔一般社団法人日本水産会会長〕 豊かな海づくり大会推進委員会顧問〔日本放送協会会長〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会会長〔北海道知事〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会副会長〔厚岸町長〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会副会長 〔（一社）北海道水産会代表理事会長（北海道漁業協同組合連合会代表理事会長）〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会顧問〔北海道議会議長〕 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会顧問〔厚岸町議会議長〕
その他	介添	厚岸翔洋高等学校
	吹奏楽演奏	厚岸町吹奏楽団、厚岸中学校吹奏楽部、真龍中学校吹奏楽部 厚岸翔洋高等学校吹奏楽部
	海上歓迎演奏	北海道くしろ蝦夷太鼓保存会、釧路太平洋太鼓保存会

海上歓迎行事

北海道内で操業する漁船により、本道で営まれている代表的な漁法を紹介するほか、官公庁船を加えたパレードにより招待者を歓迎します。

漁船	かき・あさり養殖漁業
	こんぶ漁業
	ししゃもこぎ網漁業
	さんま棒受け網漁業
	いか釣り漁業
漁場管理船	漁場管理船（漁協）
官公庁船	漁業取締船
	試験調査船



御放流魚種

海上歓迎・放流行事会場で放流される魚種

魚種・特徴	写真
<p>○マツカワ</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に北海道太平洋沿岸に分布し、全長50～80cm に達する大型のカレイで、刺網や定置網などで漁獲されている。一時は漁獲量が極端に減少し「幻の魚」と呼ばれていた。 本道では、資源増大を目指して、北海道栽培漁業センター（伊達市）及びえりもセンター（えりも町）を整備し、平成18年より両施設で年間100万尾の種苗生産と漁業関係者による放流を行っており、漁獲量が着実に増加している。 えりも以西太平洋海域の漁業者は、資源管理協定を締結して全長35cm 未満の個体の資源保護に取り組んでいる。 「王鰈（おうちょう）」のブランド名で、主に刺身や寿司ネタにされる高級魚であり、味はカレイ類の中でも最上級と言われている。 	
<p>○ホツカイエビ</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に北海道太平洋とオホーツク海沿岸の内湾のアマモ、スガモなどが茂る藻場に生息する。本道では野付湾、サロマ湖、能取湖、厚岸湖、宗谷湾などが主な漁場であり、漁期は6～11月。代表的な地方名称はホツカイエビ。 厚岸漁業協同組合えびかご漁業班では、資源増大を図るため、漁期の短縮など、漁業者自らが資源管理を実践するほか、ブランド化にも取り組んでおり、2012年度開催の第18回全国青年・女性漁業者交流大会「資源管理・増殖部門」において農林水産大臣賞を受賞した。 根室管内野付湾でのホツカイエビ漁の歴史は古く、風力で網をひく「打瀬網漁」は明治時代から行われている。 塩ゆでしたときに旨みが引き出されることから、初夏から夏の漁期にゆでたてを食べるのが一番と言われている。 	

* 写真提供：(地独)北海道総合研究機構

放流方法

放流参加者を前方ブロックと後方ブロックに分け、スムーズな進行を図ります。

前方ブロックが1回目（マツカワ稚魚）の放流、後方ブロックが2回目（ホッカイベジ稚魚）の放流を行います。

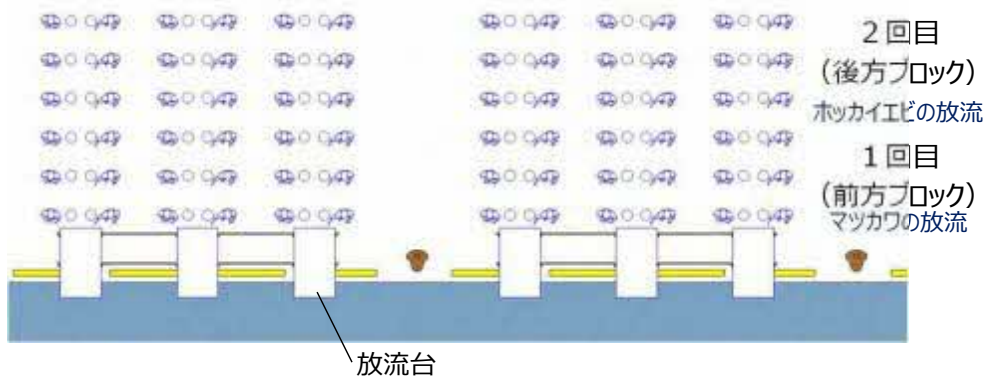
放流参加者の足元には、あらかじめ放流魚を入れたバケツを用意し、補助員の誘導によりスムーズに入れ替わりができるようにします。



*写真提供：兵庫県

兵庫大会（令和4年）での御放流

■ 平面図 【整列イメージ】



平面図

■ 立面図



正面図



側面図

基本的な考え方

本道水産業の特色や環境保全の活動のほか、本道の「食」や「観光」など魅力あふれる「北海道ブランド」を道内外に発信することを目的とした関連行事を開催します。水産業に関する企画展示やステージイベント、ふれあい体験、物産エリアなど、来場者に親しみやすい内容とします。

日時等

- 期 日：令和5年9月16日（土）・17日（日）
- 場 所：厚岸会場 厚岸町 厚岸漁港湖北岸壁
釧路会場 釧路市 観光国際交流センター広場・幸町緑地



厚岸漁港湖北岸壁



釧路市観光国際交流センター広場・幸町緑地

名称

（仮称）豊かな海づくりフェスタ 2023

実施内容

（1）企画展示

本道水産業の特色や漁法の紹介、放流魚種の展示、環境保全や栽培漁業に関する取組等

（2）大会行事中継

大会当日、式典行事と海上歓迎・放流行事の放映を実施

（3）ステージイベント

伝統芸能・著名人などのアトラクション等

（4）物販・飲食

本道の水産物や多彩な地場産品、観光や文化など魅力あふれる「北海道ブランド」をPRする農林水産物の販売・飲食

（5）体験ブース

海の生物に関する学習、環境教育に関する体験等

（6）絵画・習字コンクール入賞作品展示

基本的な考え方

全国豊かな海づくり大会を記念して、道内の児童・生徒を対象に絵画・習字コンクールを実施し、優秀作品を御覧いただきます。

日時等

- 期 日：令和5年9月16日（土）
- 場 所：釧路市内

展示内容

- 絵画部門 北海道知事賞 3点 [小学校（低・高学年）、中学校 各1点]
- 習字部門 北海道知事賞 3点 [小学校（低・高学年）、中学校 各1点]

作品御覧プログラム

進行	出席者等
御着	御先導：北海道知事
絵画・習字優秀作品御覧	御説明：北海道教育長 受賞者：北海道知事賞 〈絵画部門〉 小学校低学年（1年生～3年生）の部 小学校高学年（4年生～6年生）の部 中学校の部 計3名 〈習字部門〉 小学校低学年（1年生～3年生）の部 小学校高学年（4年生～6年生）の部 中学校の部 計3名
御発	御先導：北海道知事



兵庫大会（令和4年）での作品御覧

* 写真提供：兵庫県

基本的な考え方

「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」の開催に併せて行われる功績団体表彰の受賞者や道内漁業後継者等と御懇談いただきます。

日時等

- 期 日：令和5年9月16日（土）
- 場 所：釧路市内

御懇談プログラム

進行	出席者等
御着	御先導：北海道知事
御懇談	御説明：北海道漁業協同組合連合会代表理事会長 御懇談：漁業後継者 稚魚等お受取者 功労団体表彰受賞者
御発	御先導：北海道知事



兵庫大会（令和4年）での御懇談